

第 24 期・第 3 回 iLEAPS 小委員会 議事録

開催日時：2019 年 9 月 7 日 9:00~10:00

開催場所：名古屋大学宇宙地球環境研究所

メモ作成者：佐藤永（海洋研究開発機構）

全委員 17 名のうち 14 名参加で、本会議は成立。

IGAC から谷本委員長を含む数名がオブザーバーとして出席。

=====

1. 日本学術会議公開シンポジウムについて（報告）

三枝委員から、今年 8 月 7 日に「Future Earth 時代における地球表層システム科学と防災・減災研究」と題した公開シンポジウムを開催したことについて、報告があった。シンポジウムの総合討論において、気候変動対策についての緊急メッセージ（一般向け）を日本学術会議から出すべきという提案があり、その表出方法が 8 月末に開催された幹事会で議論され、今年 9 月に会長談話として出される予定である。

2. IGAC・SOLAS・iLEAPS 間の科学的連携の深化について（議論）

まず、谷本浩志 IGAC 小委員会委員長、宮崎雄三 SOLAS 小委員会委員長代理、檜山 iLEAPS 小委員会委員長の 3 名より、IGAC・SOLAS・iLEAPS 間の科学的連携が必要とされる背景説明があった。これに基づき、行われた議論を以下に箇条書きする。

- ・包括的なテーマで予算を取る努力が必要。エアロゾル研究は、大気を通じて互いに関連するトピックに關与するため、その包括的テーマの候補となるだろう。

- ・GRP (Global Research Projects) と KAN (Knowledge Action Networks) との連携について議論がされてきた。現段階でも模索中のため、今後も議論を続けることになる。

- ・SOLAS・iLEAPS・IGAC との連携関係を構築するために、合同研究集会などを企画できないか。トップダウンだけではなかなか研究が進まないの、これらのコミュニティーに属する研究者が交流する機会を提供し、個々の研究者が必要に応じて（ボトムアップ的に）連携するようにしてはどうか。

- ・分野融合研究を推進するための研究資金 (Funding) のあり方を、予算規模を含めて Funding Agency に伝える必要があるだろう。

・研究者個々人の要望を実現化する仕組みを整備する必要もある。貢献貢献というが、きちんとした科学に勝る貢献はない、というのが私たちの忘れてはいけない立場である。社会に貢献するためには、エビデンスベースでの議論を行う必要があり、したがって基礎研究が大切である。

・JpGU 大会において、本議題に関連する学際的なセッションが開かれているので、JpGU を活用していく方向性はあり得る。

・若手人財の枯渇は非常に大きな問題（なかなか学生が博士課程に進学してくれない）。学部生レベルの学生は何に興味を持つか分からないので、そういうとても若い方々に、様々な分野の情報を提供する場を多く作る必要があるだろう。

3. iLEAPS SSC meeting に関わる最近の話題について（報告）

檜山委員長より以下の報告があった。

- ・今年6月に iLEAPS SSC のオンライン会議が開催された。
- ・Face to Face の SSC 会議が、今年10月14日～15日に米国コロラド州で開催される。
- ・iLEAPS+OZ flux 合同科学会議が、2021年2月9～12日にニュージーランドのオークランドにて開催される。

4. iLEAPS SSC の次期日本代表委員について（報告と承認）

檜山委員長の SSC メンバーとしての任期は10月までである。次期の日本代表委員として佐藤委員を立候補させることが檜山委員長より提案され、iLEAPS 小委員会として承認された。10月開催の iLEAPS SSC meeting で承認されれば、11月以降は佐藤委員が SSC メンバーとして活動していくことになる。

5. JpGU 代議員への候補者の擁立について（提案と承認）

現在、募集中の JpGU 代議員の候補者として、佐藤委員を iLEAPS からの推薦する案が市井委員より提案された。なお、JapanFLUX からは市井委員が、水文・水資源学会からは檜山委員が、それぞれ推薦されている。

6. iLEAPS newsletter について（報告）

檜山委員長より、iLEAPS newsletter に、iLEAPS-Japan から積極的に投稿して欲しいとの

要望が伝えられた。なお、今回実施した iLEAPS/IGAC 合同研究集会については報告する予定である。

7. IPCC 特別報告書について（報告）

三枝委員より、IPCC の特別報告書に関する報告があった。なお、三枝委員からは、本会議後に iLEAPS-Japan メーリングリストを通じて、追加情報の提供があった。